

地域密着型サービス 運営推進会議報告書

施設名 : 湖水苑

施設種類 : グループホーム

日時 : 令和7年3月12日(水) 14:00~15:00

場所 : グループホーム湖水苑 地域交流ホール

参加者 : ご利用者ご家族様、民生委員様、第三者委員様 2名、高齢者
あんしん支援センター様、湖陵駐在所様、
湖水苑施設長、グループホーム湖水苑 管理者

※報告書に掲載している写真はご家族へ掲載の了承を得て掲載しています

議題

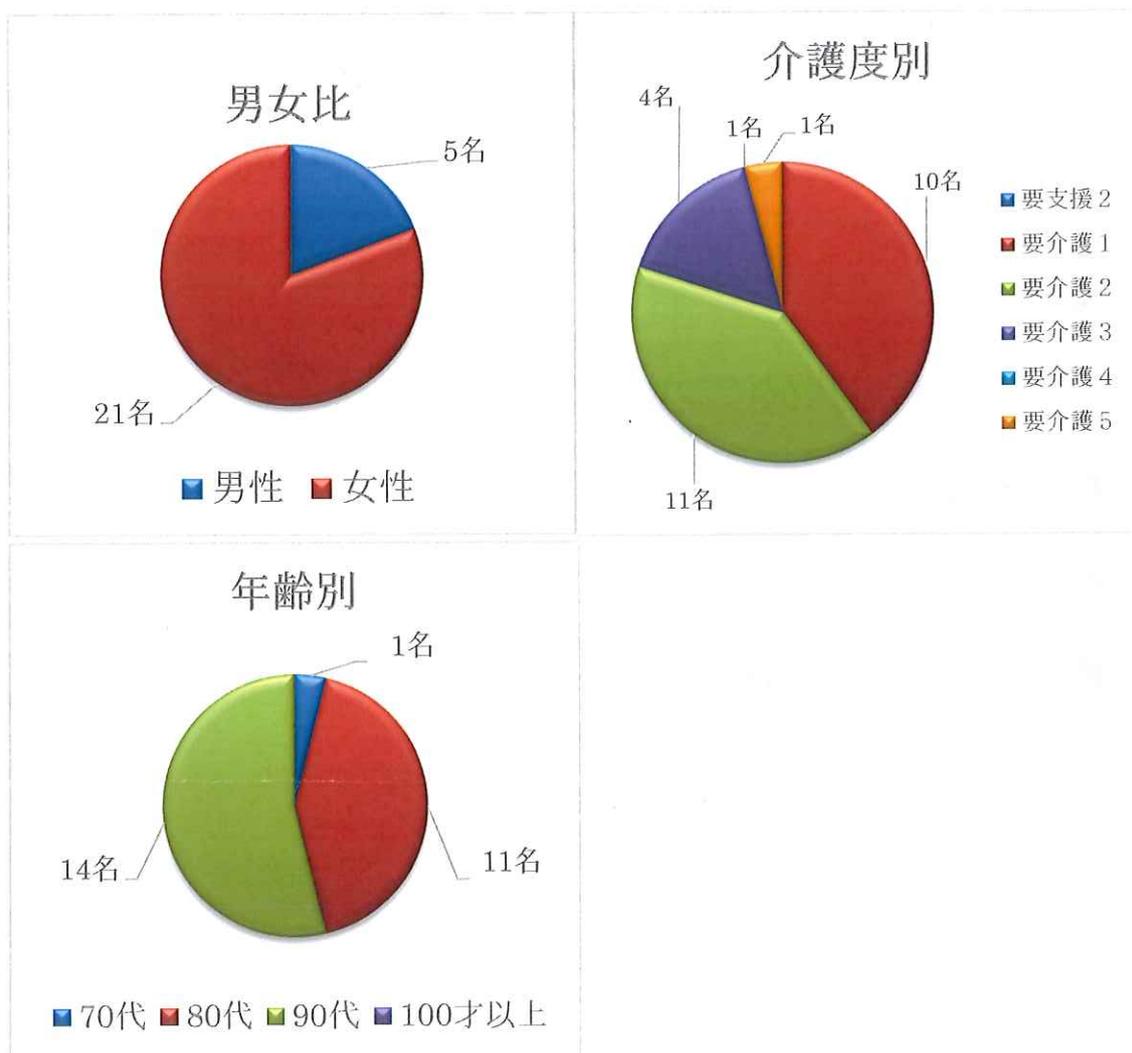
- 現在の利用状況について
- 入退所近況
- 近況報告
- 今後の予定について

1 : 利用状況 (R7.3.12 時点)

男性 5 名、女性 21 名

平均介護度 1.9

平均年齢 89 才



湖陵町 7 名、佐田町 5 名、松寄下町 2 名、塩冶町 1 名、
 高松町 2 名、多伎町 1 名 神西町 3 名、小山町 1 名
 大社町 2 名、武志町 1 名 下古志町 1 名

2：入退所近況

《入退所状況》

- ・入院退院：1/9～2/14 コロナ感染症
1/25～2/21 尿路感染症
- ・入所：2/28 1名（在宅より）
3月中旬 1名（在宅より）入所調整中
- ・退所：2/28 1名（お看取りにて）

3：近況報告

2月3日節分という事で鬼に扮したスタッフ目掛け豆まきをしました。

今年の節分会も無事に終わり、ご入居者の皆さんとスタッフ一同、心に残る思い出を作ることができました。来年もまた、笑顔あふれる楽しい節分会を皆さんと一緒に迎えたいです。

3月7日特養課と合同でひな祭りコンサートを開催しました。

ひな祭りと言えば“お大内裏様とお雛様”という事で、グループホームに入所しておられるご主人と、特養へ入居中の奥様もご招待し皆さんと一緒にコンサートを楽しみました。

《ターミナルケア》

令和5年10月入所 93歳 女性

1/25に尿路感染症のため入院され、2/21に退院をされましたが、退院翌日より徐々に食事摂取量が減少してこられ2/24夕食時から経口摂取が困難となりターミナル期へ移行され、2/28にグループホーム湖水苑にてお亡くなりになりました。

入院中の約1ヶ月で身体機能の低下が見られ食事摂取量も少なくなられ、入院治療中盤より点滴による静脈栄養にて栄養を補給しておられました。

退院までの間にご家族のご意向をカンファレンスにて確認させて頂きながら、現在の状態で退院された場合に湖水苑としてご本人にして差し上げることが出来るケアについてや、退院後のご本人の生活について話し合いを行いました。

ご家族のご意向は、

『母にこれ以上治療することで痛い思いや苦しい思いはしてほしくないと思っていて元の環境に出来るだけ早く戻してやりたいと思っています。湖水苑さんに協力してもらえれば迷惑を掛ける事になるかもしれない。このまま治療することで寿命を少し伸ばすことは出来るかもしれないが、それは家族の勝手な想いという部分が大きいと思っています』

『母も昔から胃ろうなどの延命治療は希望していませんでしたし、これ以上注射などの痛い思いをさせながら命を繋いでいくのはかわいそうで仕方がない』

と、強い希望がありました。

退院後のケアとして、ターミナル期に移行された場合、医療機関とは違いグループホームでして差し上げられる事は限られていますが、ご本人が穏やかな気持ちで苦痛や傷のない体で最期を迎えて頂ける様、関わらせて頂きました。

介護スタッフが行う看取りケアの対象は、ご利用者本人だけではなく利用者を亡くされ悲しみや不安を感じているご家族の心のケアも大切になってきます。

今回の学びを活かし今後のターミナルケアに活かしていきたいと思えます。

《感染症関係》

1月7日 職員1名コロナ陽性あり。

1月8日 ご利用者1名コロナ陽性

→1月9日 SPO2低下により入院

→2月14日 退院

以降ご利用者の中で感染症の発生はありませんでした。

《事故報告》

事故の種別：転倒

発生日時：令和7年2月24日8:00頃

発生場所：居室

事故の概要：職員が朝食の声掛けに訪室したところ、ベッド下に座っておられた。ベッドからの立ち上がりの際にベッド横に設置されていた机に手を付いたところ机が動いて転んだと話された。

発見時、左鎖骨部分と左胸部に軽度の痛みの訴えあり。

事故発生後の対応：外傷の有無の確認、痛みの有無の確認、バイタル測定を行った。痛みの訴えのあった部分へ湿布を貼らせて頂いた。

同日16:00 ご家族へ報告し、転倒後の歩行状態も安定しており痛みの訴えも軽度だった為、湿布にて様子を見させていただき、今後痛みが強くなる・腫れが出てくる等の症状があれば整形受診させていただき事をお伝えし了承された。

2月25日15:00

痛みが昨日より強くなったとご本人より訴えあり、整形外科受診しレントゲン撮影の結果、骨折の所見なし。湿布と痛み止め処方あり。

3月4日 痛みが引かない為、再度整形外科受診しレントゲン撮影したところ左鎖骨骨折の診断あり。肩バンドにて固定し全治2ヶ月との事。出雲市へ事故報告書を提出しました。

事故の原因：ベッド横に設置していたテーブルが簡易式であり、上から力を入れると不安定になりやすいものであった。

ご本人がベッドから立ち上がられた後に机に手を付いた際、机がぐらつき転倒に繋がったと考えます。

再発防止に向けた取り組み：

- ・机を安定性の高いものへ変更。
- ・歩行状態も不安定な方で 2 点支持型の歩行器を移動時に使用しておられたが、4 点支持型の歩行器に変更した。

3：今後の予定について

- ・ 3 月 14 日 地域密着型サービス集団指導
- ・ 3 月 23 日 神西湖湖岸清掃
- ・ 3 月 31 日 認知症サポーター研修実施（新入職員対象）
- ・ 3 月 31 日 救命救急講習（介護職員対象）

次回運営推進会議開催日：令和 7 年 5 月 14 日（水）14 時～